

「エコ・ハウスたかねざわ」学習プログラム		分野	植物と暮らし	プログラム No	自然	8
対象	小学3年生以上	場所	室内	期間	春	
プログラム名	タンポポ染め					
<p><プログラムの目的>(学習のねらい)</p> <p>○タンポポで染めることにより、植物の多様性を知る。(中・高学年)</p> <p>○草木染に代表される自然色素染料や素材が環境にやさしいことを知り、自然を生かした先人たちの知恵を学ぶ。</p> <p style="padding-left: 20px;">* スローライフ</p> <p>春は多くの植物が目覚めます。その植物を食べ物や染料に変える知恵を先人は持っていました。今、身近な環境を見直すため、昔の知恵を受け継ぐことも必要になってきています。</p> <p>ここでは、子ども達が見慣れた植物で、季節には花も集めやすく、染め色もきれいなタンポポ染めを紹介します。染色は煮る作業が重要ですので、やけどだけに気をつけていただければ、黄色いかわいいハンカチができあがります。</p>						

すすめ方 **タンポポ染め**

対象: 中～高学年

1. 準備するもの



- ・タンポポの花(染め布の3～5倍)
- ・染め布(ハンカチ、スカーフ 他)
- ・明パン
- ・計り
- ・温度計
- ・こし布
- ・ボール、バットなどの容器
- ・さいばし

2. タンポポ染め



①染める布の重量を量ります。



②タンポポの花の重量を量ります。



③染め布を湯せんします。



④タンポポを洗ってから、浸るくらいの水で煮ます。



⑤湯せんした布に、輪ゴムで絞りの模様をつけます。(布は冷ましてから行う)



⑥十分煮だしたタンポポを布でこします。こした液を一番液と呼びます。



⑦一番液は60℃に暖めます。(染め布を入れると液の温度が下がりますので、70℃位に上げます。)



⑧絞を入れた布を一番液に付け込みます。さいばしなどで、布の間に液が染み入るようにします。



⑨明バンの量は染め布の重量の8%になります。
お湯に入れ、ガラス棒などでかき回して、しっかり溶かします。



⑩布が浸るくらいの水に明バン液を入れて布を浸します。明バン液がよく染渡るように、布をよくかき回します。



⑪きれいにできました。日かげで乾かしてください。

【工夫・留意点】

- タンポポは染めようとしている布の3～5倍必要になります。
- 明バンは布の重量の8%になります。（* 布100g: 明バン8g）
- 明バンは危険な薬品ではありませんが、目に入らないように気をつけます。また良く手を洗ってください。
- ⑧⑩を繰り返すことによってより濃く染まります。